

知る人ぞ知る桜川緑地の3つの「ナニコシ？」

■■■ 日立交通安全地蔵尊・道標・三角点 ■■■



桜川緑地は、1988年(昭和63年)に開園した面積14,682㎡の日立市の公園で「サクラの名所」として親しまれています。

国道6号の西側歩道の油繩子学区側の桜川緑地公園南東の角(旧川崎病院南側)には、知る人ぞ知る「これ何?」というものが3つあります。

① 日立交通安全地蔵尊

日立市に三つある交通安全地蔵のひとつです。昭和40年代(1965年～)に入り、多賀地区周辺は交通死亡事故が多発しました。そこで、多賀町5丁目、桜川町3丁目の地域の方々が、何とかして交通事故及び死亡事故を防止し、供養をしようと立ち上がり、1969年(昭和44年)頃に建立したそうです。その中心となってお尽力されたのが当時の諏訪かおる幼稚園の園長先生だったそうです。

現在は日立市交通安全協会が管理しています。その後も、幼稚園の関係者や地域の方々が清掃をしたり花を手向けたりして守り続けています。おかげさまで、地域の交通事故は減少しています。

② 専用道標(道しるべ)

日立交通安全地蔵の北側の桜川緑地公園内にあります。コンクリート製のように見えますが、砂岩製の高さ83cmの角柱です。

正面には「國分村上孫ヲ経テ郷社鹿島/神社及真弓山方面行」、左側面には「國分村/青年団/大久保第二支部」、裏面には「昭和九年四月建立」とあります。当時の青年団活動の一環として建てられたものと推測されます。本来の立地場所は不明ですが旧国道沿いにあったものと思われます。ちなみに、日立市内には江戸時代中期以降に立てられた現存する道標が83基ありますがそのひとつです。

③ 三角点

道標の少し西側の地面に設置された三角点です。国土地理院が設置したもので、地図の測量等には欠かせないポイントです。

四等三角点で、「緯度:北緯36:33:40.8335 経度:東経140:38:04.4679 標高:34.04m」を示しています。ちなみに四等三角点は設置間隔が1.5kmで全国に約71,000点あります。油繩子学区ではここだけです。